

京都次世代エネルギーシステム創造 戦略に係るコーディネータ研修 開催

産学公連携活動において、コーディネータは「新しい価値を創造する」という重要な役割を担っています。

これには、〈技術シーズ〉の将来性や〈社会ニーズ〉を見抜き、研究成果の育成をおこなう等のプロデュース力が求められます。

今回のセミナーはコーディネータ業務従事者を対象に、コーディネータ活動の基礎知識と開発段階の技術を分析・評価する手法を学びます。

日時：平成25年12月19日（木）～20日（金） 2日間
9時30分～17時 ※19日17時～交流会実施

参加費：無料 （交流会のみ実費）

定員：15名

会場：（公財）京都高度技術研究所 10階 プレゼンテーションルーム

申込対象者：コーディネータ業務従事者

※主に、エネルギー問題に従事するコーディネータ

内容：19日（木） コーディネータ基礎概論
分析評価ツール「SN変換ツール」

20日（金）「SN変換ツール」グループワーク

主催：（独）科学技術振興機構（JST）

共催：京都産学公連携機構、（公財）京都高度技術研究所

運営：（公財）全日本地域研究交流協会（JAREC）

問合せ先：（公財）京都高度技術研究所 産学連携事業部

地域イノベーション戦略推進グループ

担当：福本

TEL:075-366-5107 e-mail:k-fukumoto@astem.or.jp

【SN（シーズ・ニーズ）変換とは？】

製品化・事業化の方向が不確定な新技術の出口を実践的に策定できる手法。研究成果（シーズ）と想定される製品・システム・サービス（ニーズ）を対応させ、製品化・事業化の方向が決定できる。